

# 天王寺村誌 目次

## 總論

一、過去と現在 ..... 一  
 二、天王寺及び阿部野 ..... 三

## 第壹編 地理及び地文

第一章 地 理 ..... 五

第一節 位置、廣袤及び面積 ..... 五

第二節 地 勢 ..... 五

第三節 區 劃 ..... 六

一、二大字及び小字名 ..... 二、村内字地の稱呼に就きて ..... 三、字名と塚との關係

第四節 水 利 ..... 二

一、池 ..... 二、溜池及び水路表 ..... 三、溜池の名稱、所在及び反別

第五節 戸 口 ..... 一四

一、過去及び現在 ..... 一、現任戸口累年表 ..... 二、水籍戸口累年表 ..... 三、現住者の婚姻及び離婚表

二、現住者出産表

## 二、國勢調査

第六節 官 公 衙 ..... 二

一、巡查派出所 ..... 二、郵便局及び通信其他 ..... 一、天下茶屋郵便局 ..... 一、郵便物の集配區域及び回数 ..... 一、口、電報配達區域 ..... 一、現在從業員定員 ..... 二、区内通信設備 ..... 一、郵便函設置場所 ..... 一、自動電話設置

場所：ト、電話加入區域：チ、郵便物取扱：リ、小包郵便物集配累年表：ヌ、電信及び電話取扱累年表  
 ル、爲替及び貯金累年表：ヲ、振替貯金恩給年金及び簡易保険累年表：ワ、歳入歳出國庫市公金取扱累年表  
 2 阿部野郵便局：三等郵便局 3 東天下茶屋：三等郵便局 4 飛田郵便局：三等郵便局

第七節 交通 ..... 三

第八節 風俗習慣 ..... 四

一、年中行事 〓 七日正月：寒の入：寒行：萬歳：節分：惠方詣：雛祭：彼岸會：端午：七夕：盂蘭盆：盆  
 踊：中元：月見：菊節句：十夜：報恩講：歳暮  
 二、冠婚葬祭 〓 婚禮：出産：葬儀：還曆賀：棟上  
 三、衣食住 四、趣味及び遊藝 五、信仰(宗教) 六、俚諺

第二章 地文 ..... 六

第一節 地味 ..... 六

第二節 地震と本村 ..... 六

第三節 本村の地質と阿閉島 ..... 七

第四節 温泉の傳説 ..... 七

第五節 氣象 ..... 七

第六節 ..... 七

第二編 沿革

第一章 皇室と本村 ..... 七

第二章 行政及び區劃の變遷 ..... 八

第一節 古代の行政 ..... 八

イ、大化の新政 〓、大寶律令

第二節 中世區劃の變遷及び守護職 ..... 八

一、區劃の變遷 二、守護職

第三章 豊臣、徳川時代以後の變遷 ..... 八

第一節 領主、石高及び檢地 ..... 八

第二節 徳川期以後明治に至る區劃の變遷 ..... 八

第三節 上古、中古、徳川期の徵税法 ..... 八

第四節 天保時代以後の庄屋 ..... 九

第四章 明治以後の行政 ..... 九

第一節 維新直後の行政區劃及び長官 ..... 九

第二節 大區小區及び戸長制度同法規 ..... 九

第三節 大、小區の制定及び區長其の他假職制並取扱心得 ..... 一〇

一、大、小區の制定 二、區、戸、伍長假職制並取扱心得 三、區長取扱心得 四、戸長取扱心得

五、總代人選舉法

第四節 郡中番組の廢止及び接續郡番組の改正 ..... 一〇

第五節 郡制發布と郡、區、町、村編成法及び戸長任務摘要 ..... 一〇

一、郡制發布 二、郡、區、町、村編成法 三、郡、區、町、村編成、府縣會規約及び地方稅規約施行心得

四、戸長任務摘要 五、戸長選舉及び任命法

第六節 府會並區、町、村會の開設及び町村會規則 ..... 一三

一、府會並町村會の開設 二、町村會規約

第七節 各町村の戸長制と本村……………二二六

第八節 市制及び町村制と本村及び其の戸長……………二二九

一、市制及び町村制發布 二、戸長の異同

第五章 本村と戦争其他……………一三二

第一節 戦争及び交通上の要地……………一三三

第二節 平清盛と阿部野……………一三三

第三節 南北朝時代の戦史……………一三三

第四節 畠山義就の關郡押領……………一四四

第五節 本村民祖先の艱苦 附寅年免定……………一四五

第六節 本村の發展……………一五四

第三編 徵古

第一章 名所舊蹟……………一五〇

第一節 明治天皇御駐蹕所跡……………一五〇

第二節 阿倍寺跡 附阿倍寺……………一六一

第三節 安倍晴明誕生地……………一六九

第四節 兼好法師の舊蹟 附寶篋塔及び藥打石……………一七五

一、由緒 二、爲人 三、憧憬

第五節 社宮路塚……………一八〇

第六節 天王寺瓦窯址……………一八〇

第七節 紹鷗杜 附武野紹鷗……………一八〇

第八節 天下茶屋……………一八七

一、豊臣秀吉の台臨 二、天下茶屋仇討 附與吉ヶ芝及びくやし橋 甲、地理的考察乙、仇討の傳説

第二章 舊家……………一九三

第一節 保田氏……………一九三

第二節 橘氏……………一九六

第三節 寺田氏……………一九七

第四節 芽木氏……………一九八

一、天下茶屋と紹鷗 二、天下茶屋と齋屋

第五節 津田氏 附橋本及び高津氏……………二〇八

第四編 社寺教會其他

第一章 神社……………二二二

第一節 阿倍王子神社……………二二二

一、阿倍王子権現縁起 二、氏神社殿卷 三、講社 御釜講 若者中永代燈明講

第二節 天満宮……………二二六

第三節 阿倍晴明神社……………二四〇

第二章 寺院……………二四三

第一節 印山寺……………二四三

第二節	廣	臺	寺	二四〇
第三節	正	圓	寺	二五〇
第四節	安	養	寺	二五一
第五節	淨	明	寺	二五三
第六節	淨	國	寺	二五四
第七節	泰	清	寺	二五四
第八節	義	光	庵	二五五
第九節	寶	泉	寺	二五六
第十節	西	教	寺	二五六
第十一節	夕	雲	庵	二五七
第十二節	源	正	寺	二五七
第三章	教會其他			二六〇・二六三
第一節	說教所教會	宣教所及び講師		二六〇
第二節	說教所教會	宣教所等一覽表		二六一
第四章	塚	墓		二六三・二九七
第一節	經	塚		二六三
第二節	松蟲塚	附 松虫次郎右衛門		二六五
第三節	北島顯家	墓		二六九

高顯家神社殿遺營に關する建議其の他 甲、社殿遺營に關する建議 乙、阿部野神社地御預定の義に付伺  
丙、社地撰定の義に關する上申書 丁、同志其の他 戊、現存者 己、建碑者並河氏略傳 庚、墓前祭 附  
阿部野の露 辛、北島顯家卿墳墓に關する辨疑

第四節	蜜	蜂	塚	二九〇
第五節	寄	松	塚	二九二
第六節	佛	戎	碑	二九三
第七節	國	丸の狂塚歌		二九三
第八節	土	肥積翠堂墓		二九三
第九節	猪	名川彌右衛門墓		二九四
第十節	永	田貞柳の柳塚		二九四
第十一節	蝙蝠	軒狂歌墳		二九五
第十二節	自	樂の俳句塚		二九五
第十三節	橘	茂房墓		二九六
第十四節	紙屋	治兵衛妻さんの墓		二九六

### 第五編 行政

第一章	村政機關	二九八・三三二
第一節	概説	二九八
第二節	歴代村長其の他	三〇一

第三節 村會及び村會議員

イ、村會議員選舉有権者數累年表

ロ、村會議員一覽表

第四節 村役場事務分擔及び吏員數

第二章 村 財 政

第一節 概 説

第二節 歳 計

村歲計隔年比較表

第三節 解村當年の村豫算

第四節 村 有 財 産

1、村有財産表

イ、現金

ロ、公債證券

ハ、債券

ニ、土地

ヒ、建物

ヘ、上水道鐵管及び附屬物

ホ、村公債

コ、村公債現在表

ク、村債償還年次表

第五節 租 稅

1、租稅負擔累年表

2、村稅納額累年表

3、府稅納額累年表

4、國稅納額累年表

5、免租地累年表

6、民有々租地反別表

第六節 歩一稅の起源及び其の變遷

第三章 榮 譽

第一節 概 説

第二節 贈位、褒章、褒狀、賞與、表彰(團體)感謝

イ、小倉彌右衛門

ロ、石木兵藏

ハ、岩田民次郎

ニ、岩田久子

ホ、眼部駒藏

第四章 教 育

第一節 明治以前の教育(寺子屋)

第二節 學制發布以後の教育(小學校)

第三節 村立小學校 國民教育 補習教育及び幼稚園

甲、小 學 校

一、天王寺尋常高等小學校

イ、概況

ロ、兒童入退學及び卒業者累年表

ハ、歴代校長及び在職期間

ニ、所屬團體

イ、少年團

ロ、校友會

ハ、兒童入退學其の他累年表

ニ、所屬團體

イ、常盤婦人會

ロ、常盤處女會

ハ、兒童數其の他累年表

ニ、同窓會

ハ、歴代校長及び在職期間

四、天王寺第四尋常小學校

イ、概況

ロ、兒童數其の他累年表

ハ、現在校長氏名及び就職期間

ニ、所屬團體

イ、第四小學校教育會

ロ、天下茶屋同窓會

ハ、現在校長氏名

ニ、所屬團體

イ、學校後援會

ロ、天龍婦人會

ハ、現在校長氏名

ニ、所屬團體

イ、保護者會

ロ、天王寺第六婦人會

ハ、現在校長氏名及び就職期間

六、天王寺第六尋常小學校

イ、概況

ロ、兒童數其の他調査表

ハ、現在校長氏名及び就職期間

ニ、所屬團體

イ、兒童數其の他調査表

ロ、兒童數其の他調査表

ハ、現在校長氏名及び就職期間

ニ、所

丁、補習教育其の他

戊、幼稚園

第四節

高等普通専門教育其の他

一、私立天下茶屋幼稚園 二、私立常盤幼稚園 三、私立睦美幼稚園 附私立安倍野幼稚園 三二四

一、大阪高等學校 二、大阪府立女子專門學校 三、私立自由メソヂスト神學校 四、私立古屋女子英學塾 五、私立道修藥學校 六、大阪府立天王寺中學校 七、大阪府立阿部野高等女學校 三二五

八、私立天王寺高等女學校 九、私立明淨高等女學校 一〇、大阪市立工藝學校 一一、私立阿部野道場 三二六

第五章 諸 團 體

第一節

財團法人天王寺村公同會

一、財團法人天王寺村公同會寄附行為 二、設立當時の財産 三、設立當時の役員 三二七

第二節

天王寺村教育會

一、天王寺村教育會則 二、現在役員 三二七

第三節

天王寺村民力涵養共勵委員會

天王寺村民力涵養共勵委員會 三二九

第四節

天王寺村國民精神作興共勵委員會

一、天王寺村第一回勸諭週間實行要目 二、天王寺村國民精神作興共勵委員會則 三、天王寺村國民精神作興共勵委員氏名 三九五

第五節

村中式目其の他

一、村中式目 二、村中儉約之事 三、一札 三〇〇

第六節

天王寺村青年團

天王寺村青年團 三〇四

第七節

天王寺村少年團

天王寺村少年團 三〇八

第八節

財團法人大阪聖德會

一、沿革 二、四天王寺秋野坊の繼承 三、明治天皇の御物 三〇三

第九節

國體擁護光明會布教本部

國體擁護光明會布教本部 三〇三

第十節

阿部野親和會

阿部野親和會 三〇三

第十一節

天下茶屋矯正會

天下茶屋矯正會 三〇五

第十二節

阿部野修養會

阿部野修養會 三〇八

第十三節

阿部野婦人修養會

阿部野婦人修養會 三〇九

第十四節

自治會及び同業組合其の他

自治會及び同業組合其の他 三一一

第六章 兵

第一節

概 況

一、徵兵受檢人員累年表 二、壯丁教育程度累年表 三、徵集人員兵種別累年表 四、兵役累年表 四二二

第二節

出征軍人

一、明治二十七年戰役從軍者 二、明治三十七八年戰役從軍者 三、軍功 四、戰死者 四二六

第三節

帝國在郷軍人會天王寺村分會

帝國在郷軍人會天王寺村分會 四二九

第七章 警 備

第一節

概 況

一、消防組織及び設備 四三二

第二節

消防組織及び設備

消防組織及び設備 四三四

第八章 高 義

第一節

寄附行為

寄附行為 四三六

第二章 日本赤十字社社員……………四四〇

第三章 關東地方大震災火災救援……………四四〇

第四章 關東地方大震災火災救援に就て……………四四一

第九章 衛生……………四五六・五〇七

第一節 上水道概況……………四五七

第一期 調査及設備……………四五七

イ、人口増加推定表 〇、給水人口推定表 八、配水設備 二、給水計量制度 ホ、鐵管布設費及び量水器費年度別調 へ、上水道に關する調査……………四五七

第二期 擴張……………四五七

イ、調査 〇、使用料金其の他 八、給水成績累年表……………四五七

第二節 下水道……………四六九

1 沿革 2 設計……………四六九

第三節 調査……………四七〇

イ、平面圖及び標高 〇、河川の水位 八、地質 二、人口 ホ、雨水量及び汚水量 甲、最大降雨量 一、最大降雨表 二、最大降雨強度表 乙、標準雨量算出式の決定 丙、雨水流下量の計算法 丁、流下係數 戊、排水區別流下係數表 己、汚水量 庚、排水區別汚水量表 へ、計劃の概要 甲、東部流域 一、東部第一排水區 二、東部第二排水區 乙、西部流域 一、西部第一排水區 二、西部第二排水區 三、西部第三排水區 四、西部第四排水區 ト、設計の説明 甲、下水排除の方法 乙、流速及び勾配 丙、管徑計算法 丁、下水管の形狀及び其の構造 戊、人孔燈孔及び其の構造 己、下水管の接続 庚、下水管の洗滌及び通風 辛、側溝雨水枳及び其の取付管 壬、私設下水道 癸、改良下水道工事費豫算表……………四七〇

第三節 天王寺村衛生組合……………四九四

第四節 汚物掃除其の他……………四九五

第五節 天王寺村傳染病隔離病舎……………四九六

第六節 大阪市立大阪市民病院……………四九七

第七節 大阪市立天王寺産院……………四九七

第八節 大阪産婦園中道分園……………四九八

第九節 衛生に關する各種統計表……………四九八

イ、種痘成績累年表 〇、傳染病患者累年表 八、衛生に關する施設及び職員累年表 二、衛生保健に關する商工業者累年表……………四九八

第十節 大阪市立天寺葬儀所……………五〇四

イ、葬儀所敷地及び建物 〇、墓地面積墳墓地數 八、火葬場設備 二、火葬累年表 ホ、埋葬累年表……………五〇八・五三八

第十章 産業……………五〇八

第一節 概説……………五〇八

イ、農工商業者累年表 〇、生産總價額累年表……………五一〇

第二節 農業……………五一〇

甲、概説 一、農家戸數累年表 其ノ一 〇、農家戸數累年表 其ノ二 八、土地所有戸數累年表……………五一〇

二、自作及び小作田畑段別表 ホ、農産物總價額累年表……………五一〇

乙、特産物 天王寺蕪菁 天王寺大根 丙、觀賞植物 丁、植木市場及び青物市場 一、植木市取引金額累年表 〇、青物市場……………五一〇

戊、畜産家禽及び養蜂 一、畜牛 〇、牛乳搾取業 八、養鶏 二、養蜂 ホ、家畜及び家禽總價額累年表……………五一〇

巳、天王寺村組合……………五一〇

第三節 水産業.....五二八

イ、概況

第四節 工業.....五二九

甲 概況 乙 統計諸表：イ、工産物總價額累年表；ロ、工場表其一（各曆年別）；ハ、工場表其二（原動力）；ニ、諸會社表；ホ、石炭消費高累年表

第五節 商業.....五三七

甲 概況 乙 營業統計

第十一章 社會施設.....五三六

第一節 概説.....五三九

第二節 天王寺村公設市場及び日用品廉賣所.....五三九

第三節 天王寺村方面事業.....五四〇

イ、方面事業經營累年表；ロ、方面カード登録者；ハ、庶民組合信用加入成績；ニ、方面委員氏名

第四節 財團法人大阪養老院.....五四一

第五節 娛樂機關.....五五一

第六節 指定地.....五五二

第六編 解村

第一章 編入顛末.....五五四

第一節 總説.....五五五

第二節 調査及び折衝.....五五六

甲 調査：一、緒言；二、本村の現在及び將來；三、學者及び實業家の意見；四、併合都市の状況

乙 折衝：一、編入に關する希望條件；二、潮内務省地方局長に對する陳情；一、市財政の豊富；二、自治觀念の旺盛；三、大阪市と接續町村との經濟的關係；三、若槻内務大臣に對する陳述

第三節 公會の組織.....五七六

一、平賀大阪府内務部長に對する陳述；二、潮内務省地方局長との折衝及び公會設立許可

第二章 處理.....五八二

第一節 財産處分.....五八一

イ、村有財産處分；ロ、助成及び寄附金交付；ハ、慰勞金支給

第二節 解村式.....五八五

甲 式辭 乙 感謝狀及び記念品贈呈（村治功勞者）：一、村會議員；二、兩助役及び區長、區長代理、區委員其の他（村治功勞者）；イ、田中助役；感謝狀；ロ、未田助役；感謝狀；ハ、又、區長其他；感謝狀；ル、感謝狀（武岡村長）；ウ、祝辭；カ、謝辭

第三節 解村奉告祭.....六〇四

第四節 教育會の解散.....六〇五

第五節 青年團の解散.....六〇九

第三章 解村當時の公人.....六二四

第四章 編入及び編入以後の公稱.....六二八

修補

其 一 本村人口増加の趨勢 ..... 六三三

其 二 天下茶屋遊園地 ..... 六三三

イ、概説 ..... 六三三  
ロ、植木山 ..... 六三三  
ハ、遊園地 ..... 六三三  
ニ、馬車鐵道 ..... 六三三  
ホ、博覽會開設の當時 ..... 六三三  
ヘ、最初の建築物 ..... 六三三  
ト、記念林造成か ..... 六三三

其 三 辻堂前方面 ..... 六三六

イ、概説 ..... 六三六  
ロ、八十軒長屋 ..... 六三六  
ハ、改善 ..... 六三六  
ニ、退去 ..... 六三六  
ホ、追懷 ..... 六三六

其 四 高松方面 ..... 六四二

イ、概況 ..... 六四二  
ロ、草創 ..... 六四二  
ハ、荒涼 ..... 六四二  
ニ、振興 ..... 六四二  
ホ、追懷 ..... 六四二

其 五 玉手方面 ..... 六四五

其 六 名所舊跡覺簿 ..... 六四五

甲、名所舊跡 ..... 六四五  
乙、阿部野年代記 ..... 六四五

其 七 私設道路の開通 ..... 六五三

其 八 耕地整理 ..... 六五五

其 九 區劃整理 ..... 六五七

其 十 天王寺村條規 ..... 六六〇

其 十一 天王寺村區長並區長代理者設置規程及び區域 ..... 六六二

甲、區長並區長代理者設置規程 ..... 六六二  
乙、同上分擔區域 ..... 六六二

其 十二 天王寺村教育會及び獎學委員設置 ..... 六六六

甲、創設 ..... 六六六  
乙、天王寺村教育會役員 ..... 六六六  
丙、同上獎學委員氏名及び分擔區域 ..... 六六六  
丁、事業 ..... 六六六

其 十三 帝國在郷軍人會天王寺村分會の創設及び殊勳者 ..... 六七二

其 十四 解村記念事業調査委員 ..... 六七三

其 十五 教育功勞者表彰 ..... 六七四

其 十六 五十箇年以上の配偶者 ..... 六七七

其 十六 八十五歳以上の高齢者 ..... 六七八

其 十八 御鏡鑄造所跡 ..... 六八〇

甲、伊勢神宮寶鏡 ..... 六八〇  
乙、明治神宮神鏡 ..... 六八〇  
丙、大倭姫命神社齋鏡 ..... 六八〇  
丁、奉納及び寄贈 ..... 六八〇  
戊、御鏡鑄造所跡標識 ..... 六八〇

其 十九 皇居御造營奉仕 ..... 六八五

其 二十 大同會 ..... 六八八

其 廿一 教化講演 ..... 六八九

其 廿二 阿部野郵便局 ..... 六九〇

其 廿三 搾乳事業の振興 ..... 六九一

其 廿四 サニタリー牛乳の創製其の他 ..... 六九三

其 廿五 養鶏事業の先蹤 ..... 六九四

其 廿六 猪子育雛社 ..... 六九六

其 廿七 本村北部分割當時の情勢 ..... 六九八

甲、概説 ..... 六九八  
乙、決議書 ..... 六九八  
丙、明治二十九年年度歳入出第五追加豫算 ..... 六九八  
丁、本村及大阪市共通財産 ..... 六九八  
戊、共有財産（大字天王寺限り） ..... 六九八  
己、大阪市へ分割すべき財産 ..... 六九八  
イ、土地ノ部 ..... 六九八  
ロ、建物ノ部 ..... 六九八  
辛、東成郡へ分割すべき財産 ..... 六九八  
庚、新天王寺村基本財産 ..... 六九八  
イ、土地ノ部 ..... 六九八  
ロ、建物ノ部 ..... 六九八  
辛、東成郡へ分割すべき財産 ..... 六九八

其廿八 解村當時の引繼書類及び希望條件……………七〇七

甲、引繼書類 乙、希望條件

歸 結……………七二一七三

天王寺村解體前後の村相……………七二一

イ、就職及び其の當時の情勢 ロ、各種機關の設置 ハ、教育機關 ニ、交通機關、

道の擴張 ヘ、下水道の改良 ト、傳染病隔離病舎、消防、村公設市場、村金庫及び義捐

政 リ、大阪市へ編入…1 調査…2 負擔…3 財團法人天王寺村公同會…4 阪南區劃整理組合

又、追懷 ル、感銘

編纂後記……………七三三…七三五

### 目次 畢

## 天王寺村誌

### 總論

#### 一、過去と現在

本村の變遷は之を大別して『上古』『中世』及び『現代』の三大時期に劃すべし。而して、前二期は之を一括して、假りに舊天王寺村と稱へ、爾の餘、明治三十年四月一日以降、大正十四年三月三十一日を限る、二十有八箇年間を以て、現在の本村となす。乃ち疆域及び行政上の區劃等幾多の變遷を免かれざりしも、其の舊天王寺村に屬せし時代の如きは、彼の『阿閉島』阿部島』と呼び『餘戸郷』『荒陵郷』後、四天王寺建立以來、廣く『天王寺』、若は『天王寺村』と稱へ、疆域極めて廣濶なるものたり。

従つて、仁徳天皇の大いに荒陵(茶臼山を中心とせる天王寺公園一帯の地)の修築を營み賜へるを初めとし。阿閉街道の開通。四天王寺の建立。次で阿倍寺(現本村小字阿部寺)。秋野坊(小野妹子大臣の勅を奉じて建立せしものにして四天王寺の奥院たりしも、今は財團法人大阪聖徳會第五編第五章第八節參照)に移り、爾餘の殿堂は近年東成郡役所に充てられ、更に改築して、現今の大原社會問題研究所となる。伶人町)。降つて一心寺(法然上人開基、逢阪上ノ町)。更に降つて、天王寺村錢座(元文